

2022年度 シブヤフォント ご当地フォント展 事業報告書

一般社団法人シブヤフォント

公益財団法人日本財団 助成事業
事業ID 2022004516
継続ID
事業名 障害者の文字や絵のデジタルデータ化「ご当地フォント・パターン」による障害者理解と地域活性化
事業期間 2022/04/01 2023/03/31

*本資料に掲載しております画像、文章の転載はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。なお内部資料においてはその限りではございません。
*本資料に使用しているフォントは、誰にでも読みやすいユニバーサルフォントを採用しています。



SHIBUYA
FONT



メディア掲載 1

◆新聞

福祉新聞

<https://www.fukushishimbun.co.jp/topics/28989>

◆TV

チューリップテレビHP(富山県)

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tut/157440>

チューリップテレビ(富山県)

「アートである」2023年1月3日 放送で紹介【福祉事業所から誕生したフォントとは】

https://www.tulip-tv.co.jp/programs/program_details.html?p=769743&s=0x9420&e=37105&ed=20221227

◆WEBメディア

yahooニュース (記事:福祉新聞)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/84d8999323d1a52bf1e99b25f1ed60eab202ae68>

こここ ウェブマガジン 福祉をたずねるクリエイティブマガジン マガジンハウス

<https://co-coco.jp/news/gotouchifont/>

Jiji.com(PR times)

<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000005.000097163&g=prt>

メディア掲載 2

@DIME(アットダイム)、ジヨルダンニュース!、ORICON NEWS、BEST TIMES(ベストタイムズ)、産経ニュース、財経新聞、All About NEWS、マピオンニュース、JBpress(ジェイビープレス)、STRAIGHT PRESS(ストレートプレス)、とれまがニュース、NewsCafe、ウレぴあ総研、ニコニコニュース、iza(イザ!)、朝日新聞デジタルマガジン&[and]、東洋経済オンライン、BRIDGE(ブリッジ)、BIGLOBEニュース、@niftyビジネス、Fresh eye ニュース、読売新聞オンライン、時事ドットコム、nfoseekニュース、エキサイトニュース、SEOTOOLS、PR EDGE(ピーアールエッジ)

2、全国ご当地フォント/パターン(含:障がい者アート)の企業活用展覧会と発表会



GOTOUCHI
FONT

渋谷発・全国初

ご当地フォント展

シブヤフォントが生まれた渋谷から
全国にひろげるソーシャルプロジェクト

2022.12.01 [THU] ~ 05 [MON]

渋谷ヒカリエ 8F 「8/」 COURT、CUBE 1,2,3



ご当地フォント展とは

渋谷発、日本初(*)の 障がいのある人・デザイナー・障がい者支援事業所による共創アートワーク(フォント・パターン)を日本中・世界中に届けるソーシャルプロジェクト「ご当地フォント」をスタート(フォント・パターンのダウンロード公開)いたしました。本イベントでは、全国から生まれた新たな「ご当地フォント」を発表し、また障がいのある人のアートワークを、どのように産官学福が連携し、どのように地域活性化と企業価値向上に貢献しうるのかの対話を行います。社会貢献を超えた多種多様で多彩なソーシャルインパクトを、本イベントで感じてください。

イベント概要

イベント開催日時 2022年12月3日(土)13:00~17:30
12月4日(日)11:00~17:00

展示開催日時 2022年12月1日(木)~12月5日(月)11:00~20:00
最終日のみ17:00終了

会場 渋谷ヒカリエ8F「8/」COURT CUBE 1,2,3
<http://www.hikarie8.com/home.shtml>

後援/協賛

協賛

- フロントワークス株式会社
- リベラル株式会社
- 株式会社トラストウォーク
- 東京工芸大学
- 大和ハウス工業株式会社
- Rethink PROJECT
- 株式会社 木の家専門店 谷口工務店

後援

- 渋谷区、一般財団法人渋谷区観光協会

協力

富山県障害者芸術活動支援センター ばーと◎とやま
社会福祉法人 溪明会 多機能型事業所 花椿かがやき
おおいた障がい者芸術文化支援センター
一般社団法人デザイナーズカンパニー ユーツ
株式会社naNka /株式会社コント
おおきな木
社会福祉法人ひらイルミナル
アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター
社会福祉法人やまびこ福祉会 創作ヴィレッジこるり村
広島県アートサポートセンター
NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん

アフラック生命保険株式会社、アフラック・ハートフル・サービス株式会社、株式会社インテリジェント ウェイブ、エイブルアート・カンパニー、東京工業大学リーダーシップ教育院、コクヨ株式会社、株式会社パソナハートフル、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社、株式会社フクフクプラス

助成/主催

助成 公益財団法人日本財団

主催 一般社団法人シブヤフロント

ご当地フォント関連サイト

【ダウンロードサイト】

ご当地フォント

<https://www.gotouchifont.jp>

【ECサイト】

ご当地フォント オフィシャル オンライン ショップ

<https://www.gotouchifont.jp/event001>

【イベントサイト】

「渋谷発・日本初 ご当地フォント展」

<https://gotouchifont.theshop.jp/>

【PRtimes】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000005.0000097163.html>

【ダウンロードサイト】ご当地フォント

<https://www.gotouchifont.jp>



サイトTOP page



とやまふおんと
富山



SHIGA
~自然と自由に手の力で~
滋賀



ゆけむりふおんと
大分



エドフォント
江戸川



ピースフォント
広島



フォント
紹介ページ



パターン
紹介ページ

【イベントサイト】「渋谷発・日本初 ご当地フォント展」



<https://www.gotouchifont.jp/event001>

展示

12月1日(木)~12月5日(月)

11:00~20:00

最終日のみ17:00終了

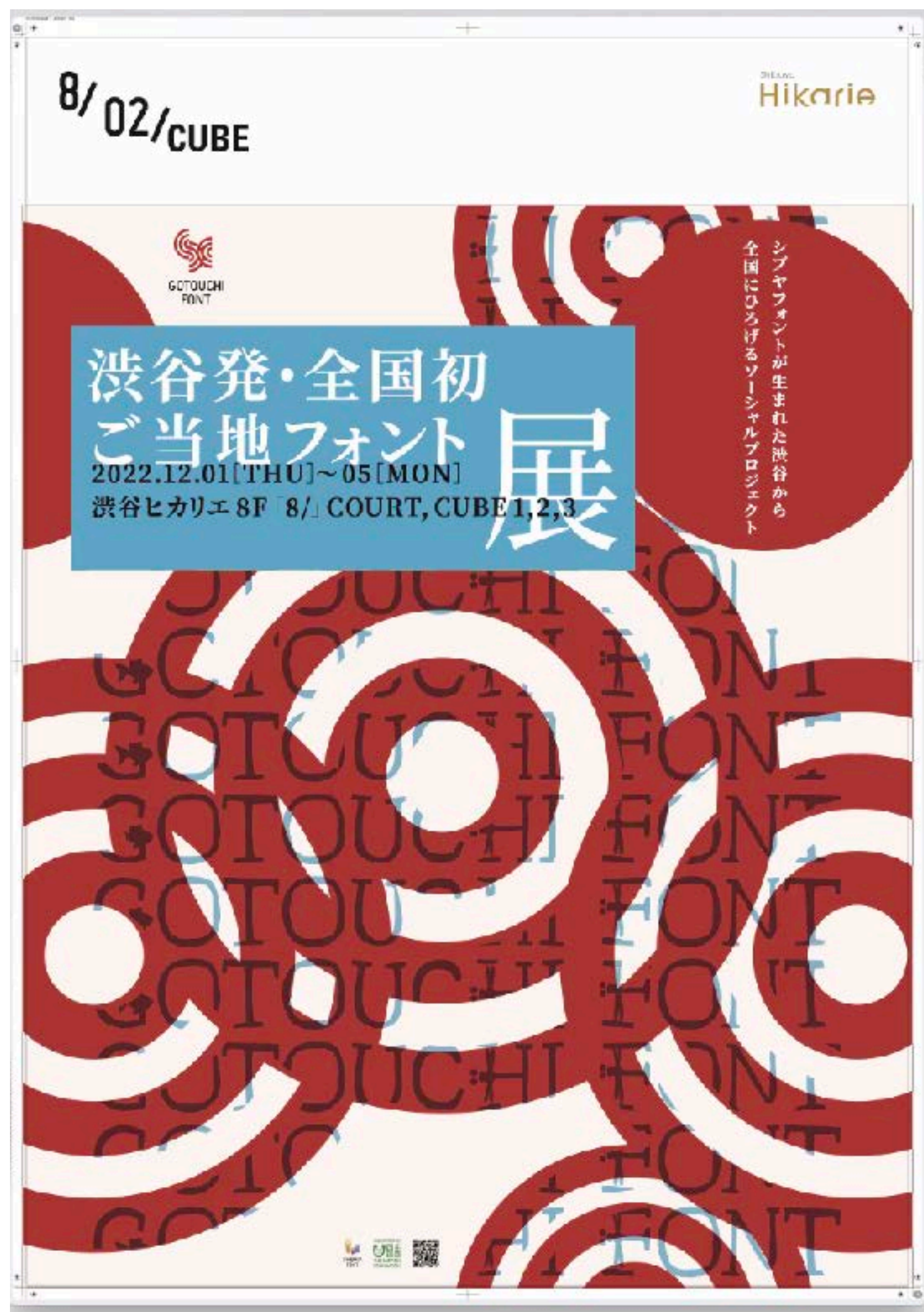




「シブヤフォント」採用商品展示

「ご当地フォント」参考商品展示

ご当地B全ポスター 10枚



ヒカリエ指定フォーマット使用



渋谷発・全国初 ご当地フォント展

2022.12.01 [THU] ~ 05 [MON]
渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT, CUBE 1,2,3

シブヤフォントが生まれた渋谷から
全国にひろげるソーシャルプロジェクト

渋谷発、日本初の障がいのある人・デザイナー・障がい者支援事業所による共創アートワーク(フォント・パターン)を日本中・世界中に届けるソーシャルプロジェクト「ご当地フォント」。本イベントは、全国から生まれた新たな「ご当地フォント」を発表するとともに、産官学福がどのように連携すれば障がいのある人のアートワークをより広く活用できるのか、そして、どのように企業価値の向上に結びつけていけばいいのかについて対話を行います。単なる社会貢献にとどまらない多彩なソーシャルインパクトを感じてください。

イベント

12月3日[土]

13:00~14:30

【トークセッション】福祉とデザインによる地域づくり

福祉とデザインのコラボレーションにより、地域の活性化、D&I推進などさまざまな課題解決の可能性について3人のキーパーソンが語り合います。



指出一正
SDGs マガジン
「ソトコト」編集長



伊藤大貴
株式会社ソーシャル・
エックス代表取締役

15:00~17:30

全国ご当地フォント発表会

大分、広島、富山、滋賀、東京都江戸川区の5拠点で生まれたフォント・パターンをご紹介します。



福島 治
東京工芸大学
教授



ライラ・カセム
一般社団法人シブヤ
フォント 共同代表
アートディレクター



磯村 歩
一般社団法人シブヤ
フォント 共同代表
株式会社フクフク
プラス 共同代表

12月4日[日]

11:00~12:30

シブヤフォントで対話型アート鑑賞

「観る・考える・話す・聴く」を繰り返すことで論理的思考やコミュニケーション能力を自然に身につけることができる、脳が脱皮する「対話型アート鑑賞」を実施します。

13:00~14:30

【トークセッション】フォントおじさんが語るフォントのはなし

アイデンティティを表現する手段として注目を集める「カスタムフォント」のソーシャルビジネスにおける可能性を探ります。



関口浩之
フォント
エヴァンジェリスト

15:00~17:00

【トークセッション】障がいのある人のアートとSDGs ~全国の企業のチャレンジ

障がいのある人のアートを積極的に活用し、企業のSDGsへの取り組みに生かしている事例を、エイブルアート・カンパニーの大井卓也氏とともに紹介します。



大井卓也
一般財団法人たん
ぽぽの家/エイブル
アート・カンパニー
関西事務局



リアル、オンライン共に
公式ホームページよりお申し込みください。

展示

2022年12月1日[木]~5日[月] 11:00~19:00 *最終日のみ17:00終了

「ご当地フォント」をはじめとする障がいのある人のアートのさまざまな可能性を、
具体事例を展示しながらご紹介します。

またユニークなフォントづくりが体験できるイベントも!

渋谷発・日本初「ご当地フォント展」

場所：渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT, CUBE 1,2,3

参加費：無料

協賛：フォントワークス株式会社/リベラル株式会社/株式会社トラストワーク/東京工芸大学/大和ハウス工業株式会社/日本たばこ産業株式会社/株式会社 木の家専門店 谷口工務店

後援：一般財団法人渋谷区観光協会

協力：アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター/アフラック生命保険株式会社/アフラック・ハートフル・サービス株式会社/株式会社内田洋行/エイブルアート・カンパニー/おおいだ障がい者芸術文化支援センター/おおきな木/東京工業大学リーダーシップ教育院/ココロ株式会社/一般社団法人デザイナーズカンパニー ユーツー/富山県障害者芸術活動支援センター ぱーと◎とやま/株式会社バソナハートフル/NPO法人コミュニティリーダー・ひゅーるぼん/広島県アートサポートセンター/社会福祉法人 漢明会 多機能型事業所 花椿かがやき/プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/株式会社フクフクプラス/社会福祉法人ひらひらミナラル/株式会社 naNka/株式会社コント/社会福祉法人やまびこ福祉会 創作ヴィレッジこりり村 助成：公益財団法人日本財団 主催：一般社団法人シブヤフォント



新作ご当地フォント・パターンの発表会とD&Iアートの祭典

渋谷発、日本初の障がいのある人・デザイナー・障がい者支援事業所による共創アートワーク(フォント・パターン)を日本中・世界中に届けるソーシャルプロジェクト「ご当地フォント」。本イベントは、全国から生まれた新たな「ご当地フォント」を発表するとともに、産官学福がどのように連携すれば障がいのある人のアートワークをより広く活用できるのか、そして、どのように企業価値の向上に結びつけていけばいいのかについて対話を行います。単なる社会貢献にとどまらない多彩なソーシャルインパクトを感じてください。

全国5つの拠点からご当地フォントが初お目見え! **12.3[SAT] 15:00~17:30 渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT**

全国ご当地フォント発表会



エドフォント
江戸川区独自の草の根ネットワークで地域共生社会づくりに一石を投じたいエドでたらす(東京都江戸川区)



とやまふんど
鮮度や素材を生かした柔らかな色合い、自然豊かな土地からのアプローチ花椿かがやき(富山県南砺市)



SHIGA ~自然と自由に手の力で~
障がいや福祉のイメージを変えたい! 個々の感性や可能性をヴィジュアルに表現創作ヴェレッジこり村(滋賀県蒲生郡竜王町)



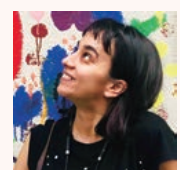
ピースフォント
人や社会と繋がって自分らしく豊かに生きるためにコミュニティリーダーひゅーるぼん(広島県広島市)



ゆけむりふんど
温泉地にたなびく湯けむりのようにおおらかに、のびやかにデザイナーズカンパニーユーツー(大分県別府市)

ホスト役はシブヤフォント

2016年、渋谷区事業として障がいのある人とデザインを学ぶ学生との共創で生まれた「シブヤフォント」。フォントやパターンには、誰にでも使いやすいという特性があり、データ利用料の一部は福祉還元されるという社会的意義もあいまって、50社以上の企業に採用されています。さらに、数多くのデザインアワードを受賞するなど社会に大きなインパクトを与えました。シブヤフォントの理念をさらに日本中に広げるために運営しているのが「ご当地フォント」プロジェクトです。



ライラ・カセム
一般社団法人シブヤフォントアートディレクター



福島 治
東京工芸大学教授



磯村 歩
一般社団法人シブヤフォント共同代表株式会社フクフクプラス 共同代表

セッション/イベント 障がいのある人のアートや福祉、官民共創に従事するキーパーソンが登場!

福祉とデザインによる地域づくり

12.3[SAT] 13:00~14:30 渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT



地域の活性化や福祉還元、D&I推進など社会の課題解決への大きな力となる「ご当地フォント」。障がいのある人たちから生まれたアートは、未来をどう変えるのか?さまざまな地域の取り組み取材する雑誌編集者の指出一正氏と、官民共創プロジェクトを推進する伊藤大貴氏。福祉とデザインによる地域づくりに深い関心を寄せるキーパーソンが、シブヤフォント共同代表の磯村歩氏とともに大いに語り合い、自然した議論を展開します。



指出一正
SDGsマガジン「ソトコト」編集長



伊藤大貴
株式会社ソーシャル・エックス代表取締役

シブヤフォントで対話型アート鑑賞

12.4[SUN] 11:00~12:30 渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT



アートをみんなで囲み「観る・考える・話す・聴く」を繰り返すことで、「脳が脱皮する感覚」が味わえる対話型アート鑑賞。アートについて何も知らなくても、誰でも気軽にできる対話型アート鑑賞会をシブヤフォントをテーマに実施します。アートによって刺激を受け、全身の感覚が開いていく瞬間を、ぜひ体感してみてください。



フォントおじさんのフォントの話

12.4[SUN] 13:00~14:30 渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT



フォントは、単なる文字ではありません。選び方によっては、感情や想いを言葉以上に表現できるかも!? そんなフォントの楽しさ、クリエイティビティを、「フォントおじさん」こと、フォントエヴァンジェリスト・関口浩之氏が語ります。看板職人の手書き文字に惹きつけられた少年時代を経て、現在は「Webフォント」文化を広めるために活躍するフォントおじさんは、ご当地フォントにどんな魅力を感じているのでしょうか?



関口浩之
フォントエヴァンジェリスト

障がいのある人のアートとSDGs ~全国の企業のチャレンジ~

12.4[SUN] 15:00~17:00 渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT



障がいのある人が描いたアートを展示するだけでなく、事業に積極的に取り入れている企業は全国に多数。その事例を全国の企業とオンラインで繋げて紹介しながら、エイブルアート・カンパニーの大井卓也氏と共に見ていきます。企業のチャレンジは、SDGsにどのような貢献をするのか、障がいのある人のアートを仕事にする環境作りに従事する大井氏が語ります。



大井卓也
一般財団法人たんぼぼの家/エイブルアート・カンパニー 関西事務局

展示「ご当地フォント」をはじめとする障がいのある人のアートのさまざまな可能性をご紹介します。

2022年12月1日[木]~5日[月] 11:00~20:00 渋谷ヒカリエ「8/」CUBE *最終日のみ17:00終了

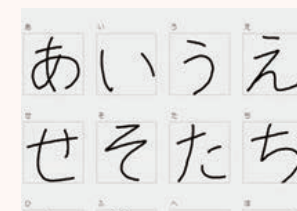
地域の独自の発想で生まれた全国5拠点のご当地フォント展

大分、広島、富山、滋賀、東京。5拠点それぞれの地域の個性豊かなフォント・パターンが初お目見え。ここから旅立ったフォント、パターンがどのように広がっていくか、一緒に考えてみませんか?



自分で作る手書き文字で自分だけのオリジナルを作ろう!

手書きした文字をAIがフォントに変える!? そんな驚きのシステム「AI JIMOJI」のほか、フォントと3D技術の融合でフォントの視認性をWeb上で確認できる「フォントシミュレーター」など。フォントのリーディングカンパニーの最新技術が体験できます。



ジカツデザイン[アートパラ深川]

地域に根ざし、求められるデザインを生み出して自ら仕事を作出するグラフィックデザイナーが全国各地に誕生しています。江戸時代からの神社仏閣が残る東京の下町・深川では、障がいのあるアーティストによる芸術祭を開催。その賑わいをご紹介します。



イベント

12月3日[土]

12月4日[日]

13:00~14:30
福祉とデザインによる地域づくり

11:00~12:30
シブヤフォントで対話型アート鑑賞

15:00~17:30
全国ご当地フォント発表会

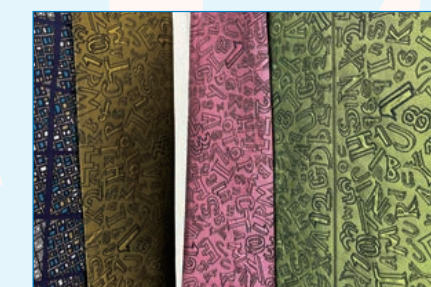
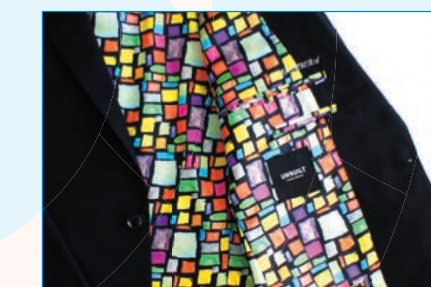
13:00~14:30
フォントおじさんのフォントの話

15:00~17:30
障がいのある人のアートとSDGs ~全国の企業のチャレンジ~

展示

2022年12月1日[木]~5日[月] 11:00~20:00 *最終日のみ17:00終了

「ご当地フォント」をはじめとする障がいのある人のアートのさまざまな可能性を、具体的な例を展示しながらご紹介します。またユニークなフォントづくりが体験できるイベントも!



渋谷発・日本初「ご当地フォント展」

場所: 渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT, CUBE 1,2,3
参加費: 無料



リアル、オンライン共に公式ホームページよりお申し込みください。

協賛: フォントワークス株式会社/リベラル株式会社/株式会社トラストワーク/東京工芸大学/大和ハウス工業株式会社/Rethink PROJECT/株式会社 木の家専門店 谷口工務店
後援: 一般財団法人渋谷区観光協会
協力: アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター/アフラック生命保険株式会社/アフラック・ハートフル・サービス株式会社/株式会社インテリジェントウェイブ/株式会社内田洋行/エイブルアート・カンパニー/おおいの障がい者芸術文化支援センター/おおきな本/東京工業大学リーダーシップ教育院/ココヨ株式会社/一般社団法人デザイナーズカンパニーユーツー/富山県障害者芸術活動支援センター ぽーととやま/株式会社バツナハートフル/NPO法人コミュニティリーダー・ひゅーるぼん/広島県アートサポートセンター/社会福祉法人 深明会 多機能型事業所 花椿かがやき/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/株式会社フクフクプラス/社会福祉法人ひらいらいミナラル/株式会社 naNaKa/株式会社コンド/社会福祉法人やまびこ福祉会 創作ヴェレッジこり村 助成: 公益財団法人日本財団 主催: 一般社団法人シブヤフォント

イベント工程 スケジュール

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

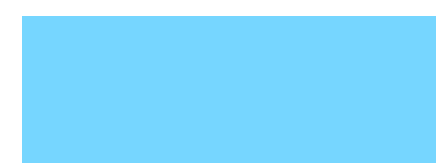
会場選定



プログラム検討



展示検討/制作



協賛企業/後援お声がけ



登壇者検討/交渉



ボランティア関連

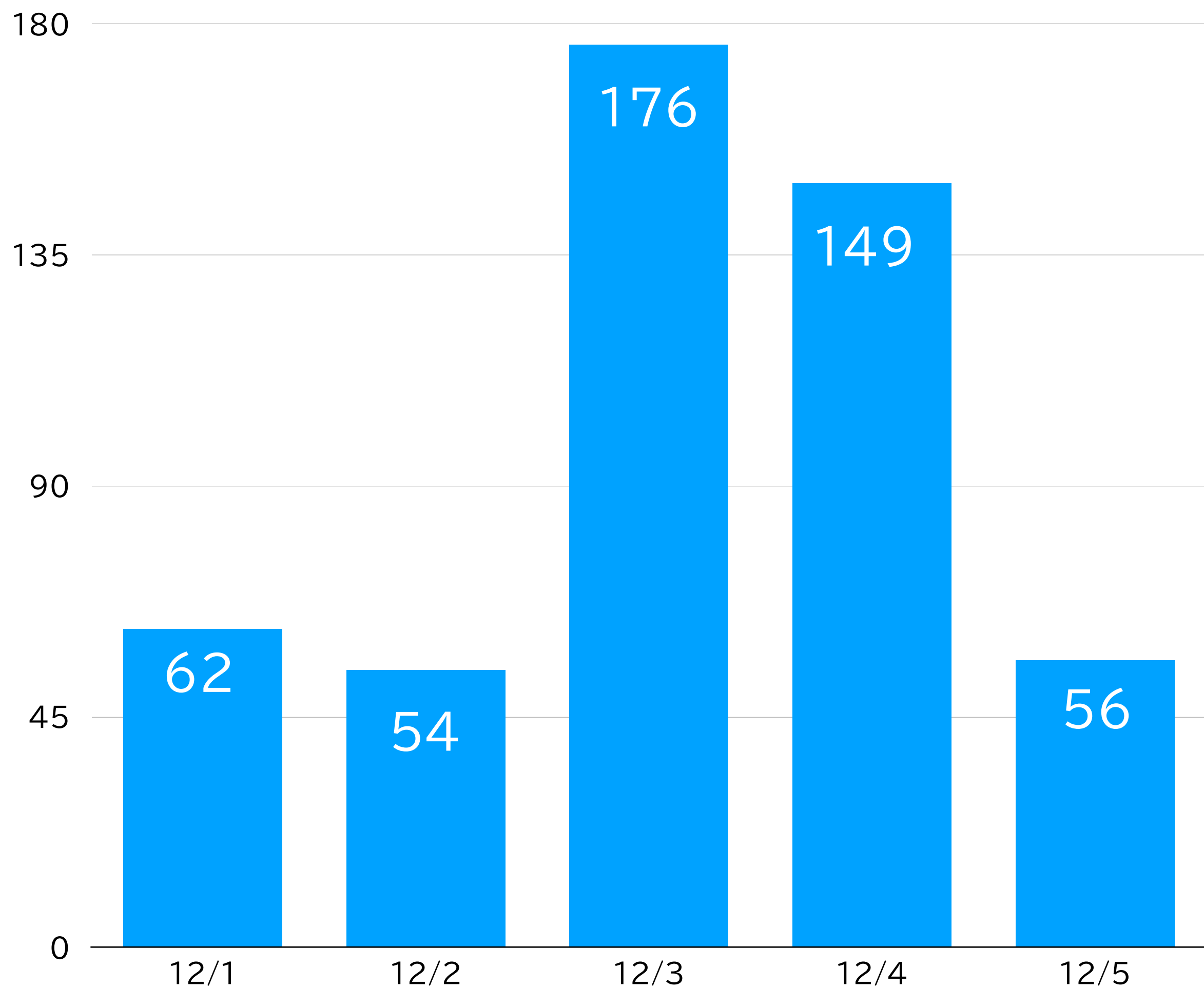


業務調整

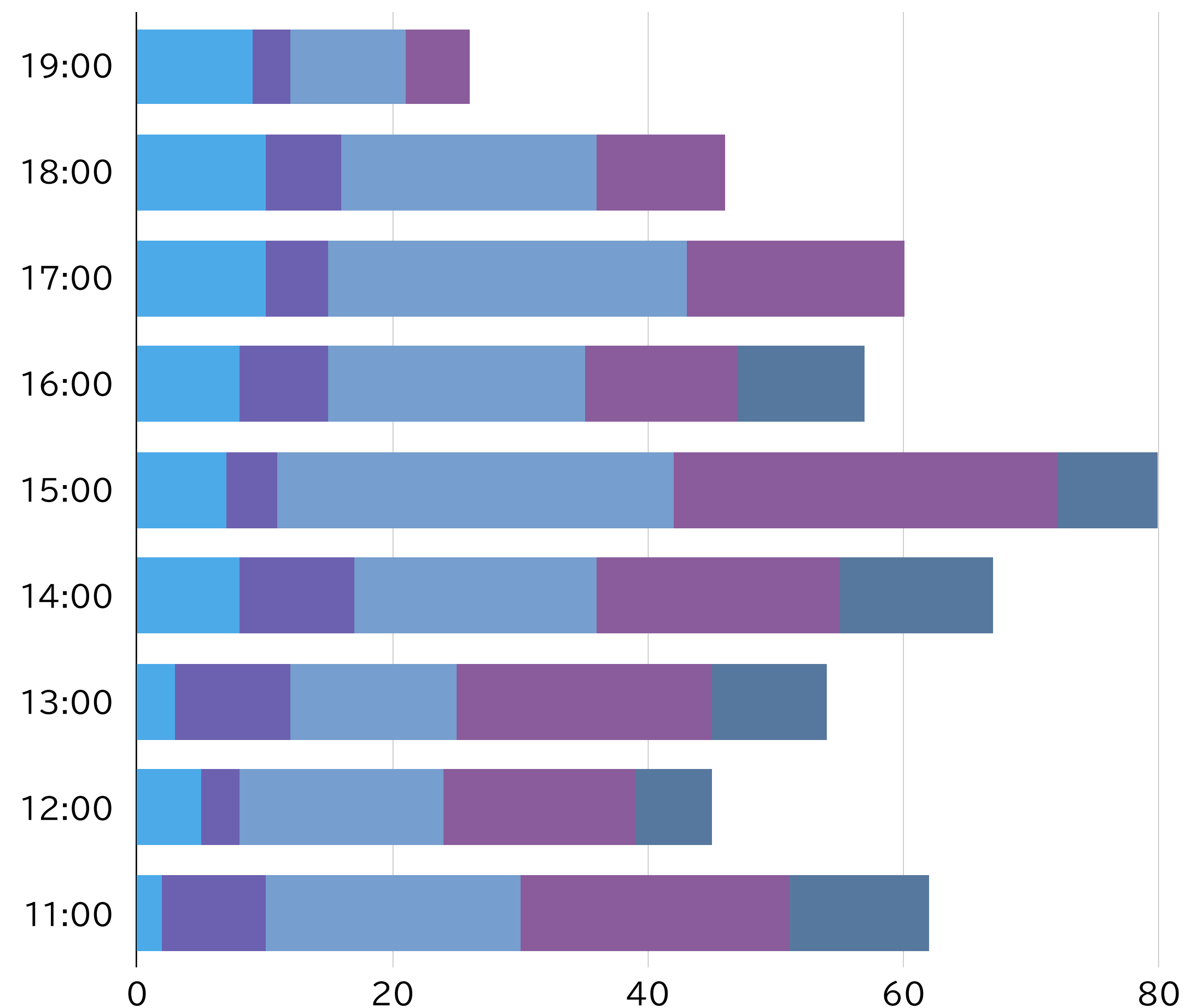


ヒカリエ CUBE / COURT 来場数

展示 497名

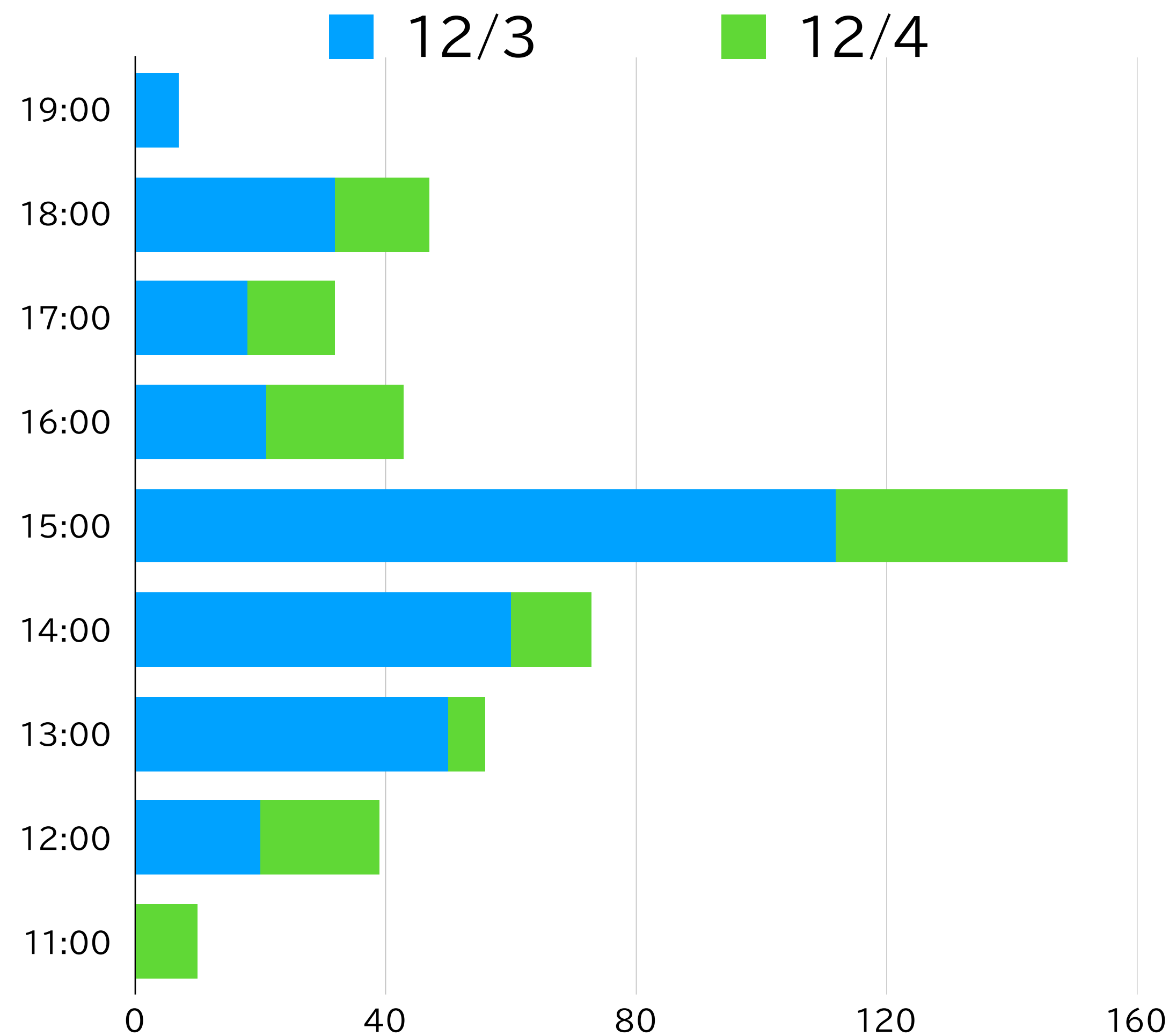
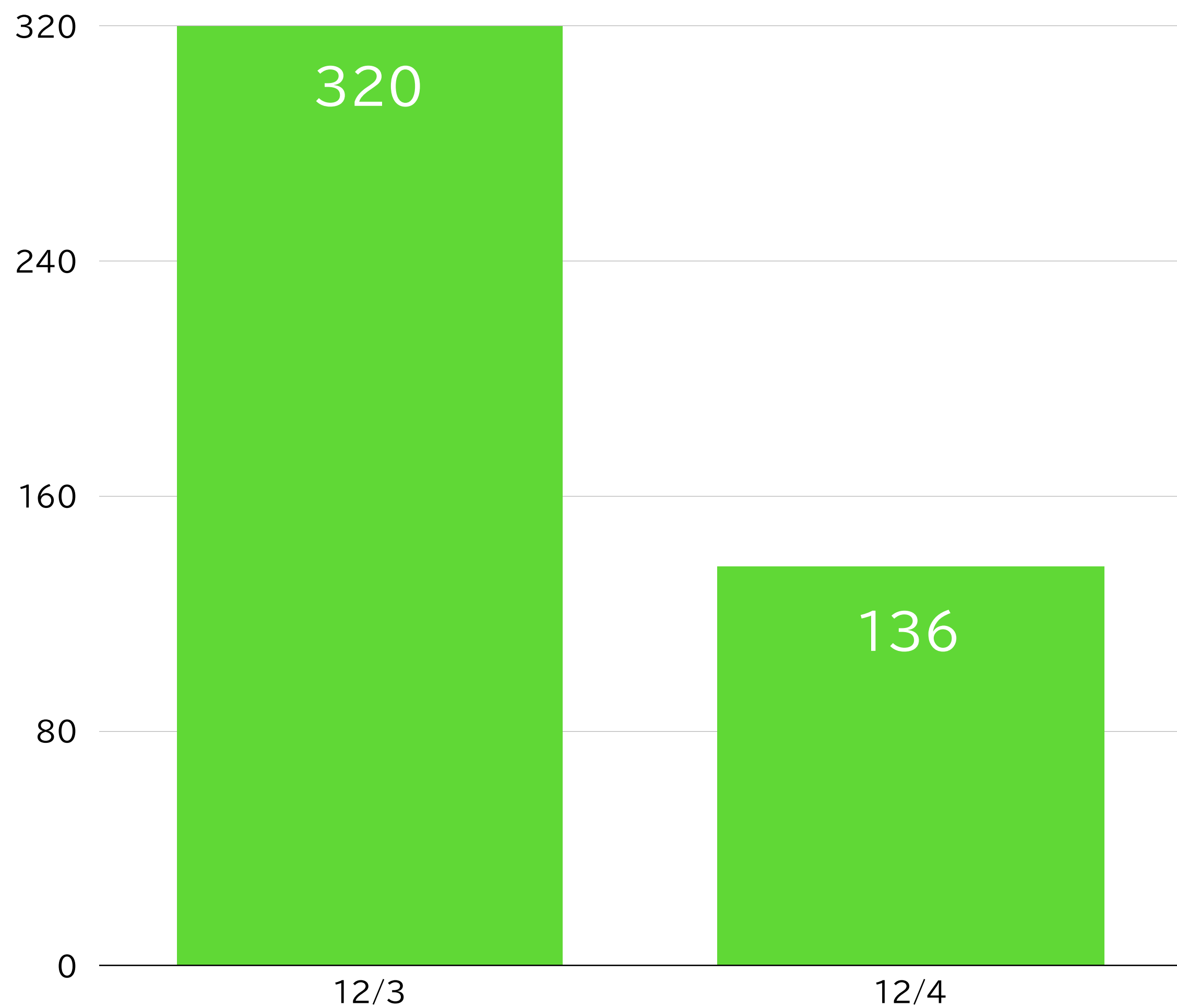


12/1 12/2 12/3 12/4 12/5



ヒカリエ CUBE / COURT 来場数

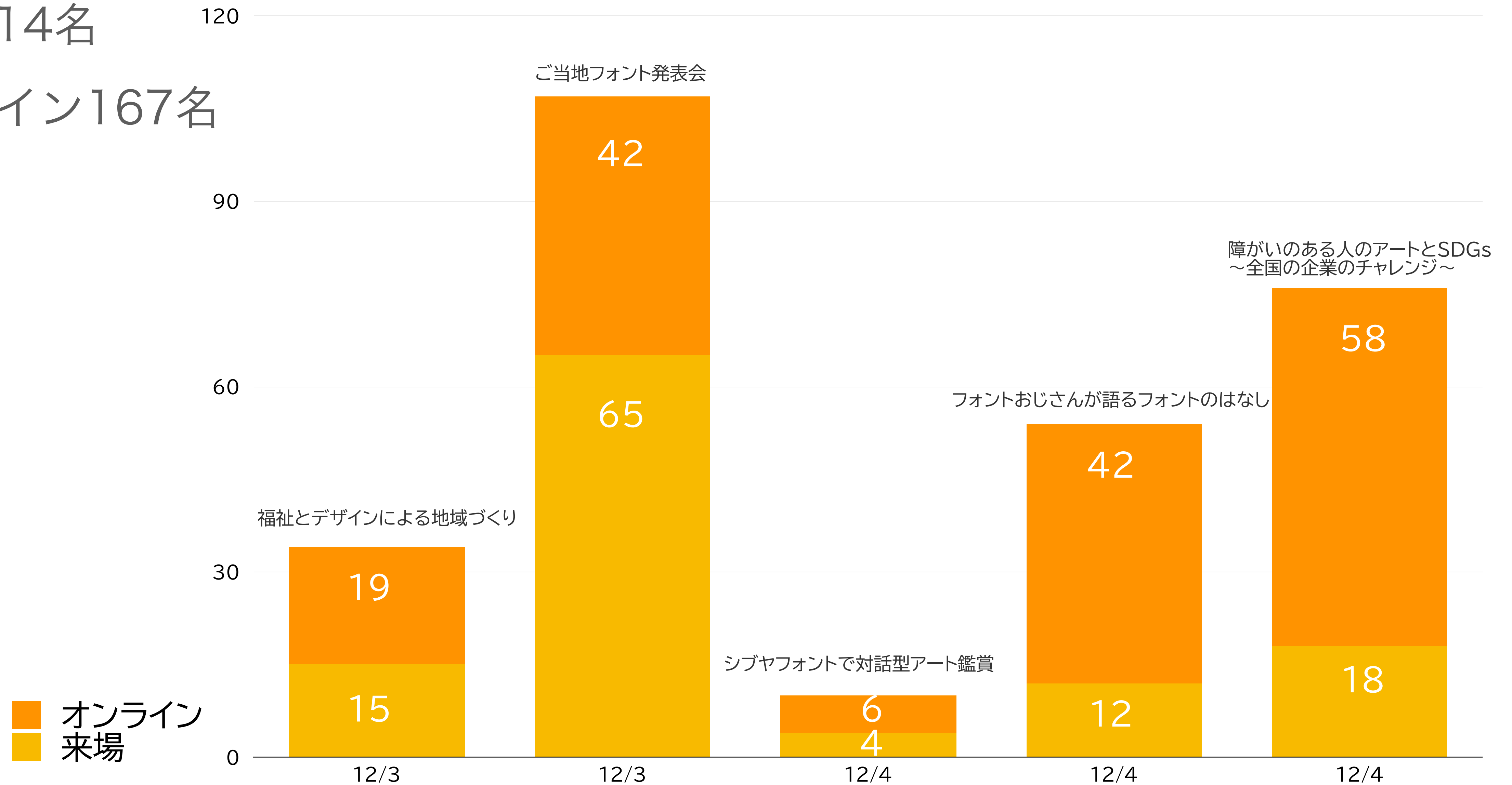
イベント 456名



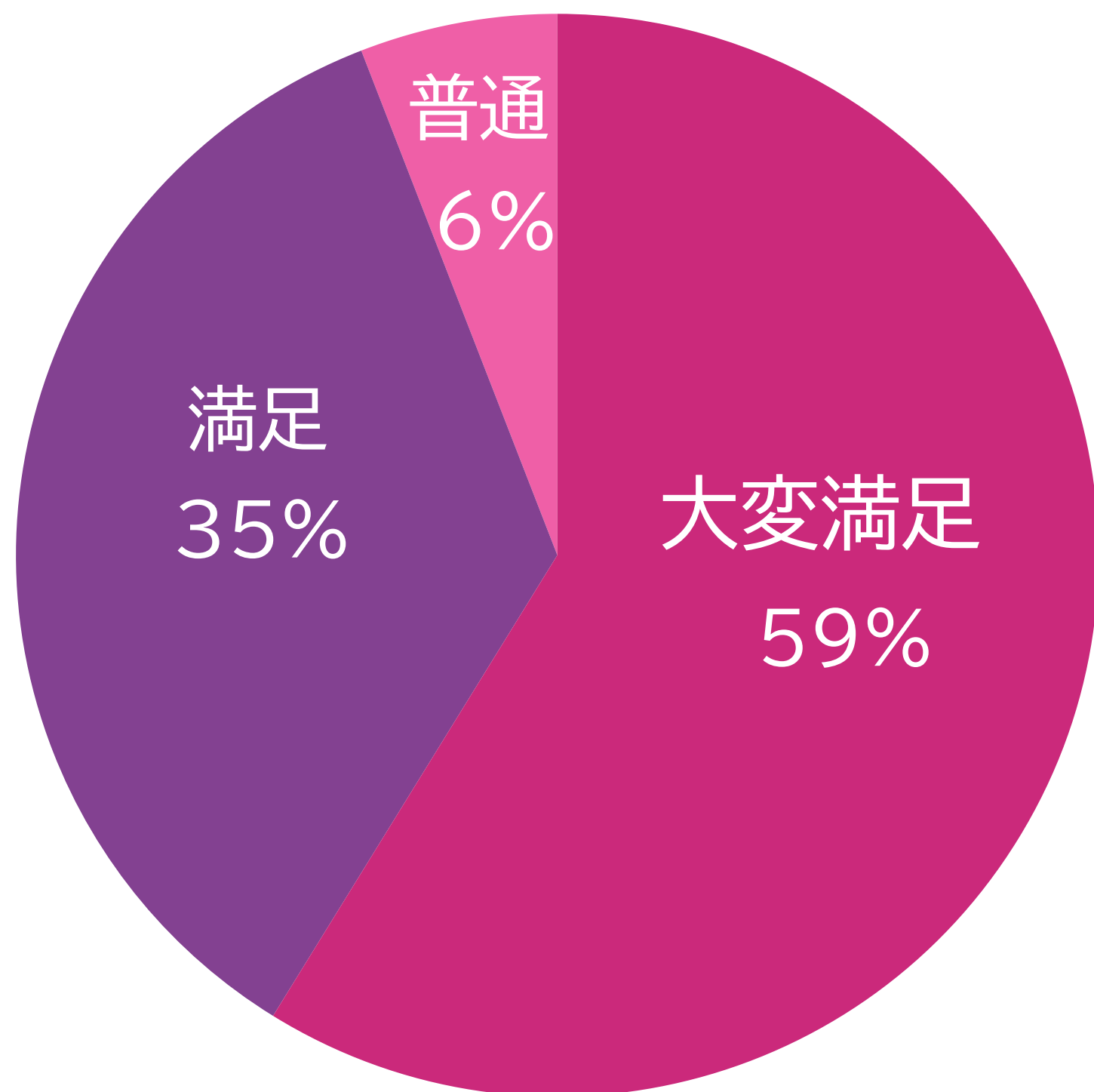
peatix申し込み

来場 114名

オンライン167名



イベント満足度



参加アンケート

満足度	満足度理由
大満足	各地の取り組みがよくわかり、またそれぞれ個性があって、ぜひ私も使ってみたいと思いました。 また、各企業の取り組みもユニークでした。 東京の大きな組織だけでなく、ぜひ地方の中小企業や公共の場所などで
満足	当日、別件がありオンライン視聴ができませんでした。 アーカイブを視聴させていただくことは可能でしょうか。
大満足	たくさんの企業の取り組みを知ることができました。そして大きく考えず、やれることから取り組んで行けば可能性が広がる…という期待を持つことができました。
大満足	フォントを知ったので
大満足	各地、各会社の取り組みが良かった。参考になった。
満足	お二人の話が興味深かったため。
大満足	デザインから元気をもらった。不思議な感覚です。
大満足	シブヤフォントだけでなく、全国5ヶ所のご当地フォントも一堂に見られたことで、取り組みの拡がりを感じられたこと、それぞれの街への興味が沸いたことです。自分の創作意欲も駆り立てられました。また、一部商品でも実際にシブヤフォントを使ったプロダクトを購入できたりしたら尚よかったかも、とは感じました。
大満足	全国の企業のチャレンジとして、障がい者のアートが活用されている事例を知り、大変参考になりました。
満足	登壇者との距離が近く、ご当地フォントに携わる方々との個人的なコミュニケーションを行えたから。
大満足	
大満足	各地でこのような活動をされていることを知らなかったもので、とても興味深い活動だと思いました。 さらにこれを発展した形での将来が楽しみです。 フォントがダウンロードできるので、仕事に使ってみようと思っています。
大満足	各企業、事業者のとりくみには、とても驚かされる内容もあったので。
満足	渋谷フォントのことを全く知らなかったもので、渋谷と聞いて浮かぶイメージと全く違くて嬉しい驚きでした。
大満足	
ふつう	20年くらい前から「たんぽぽの家」播磨靖夫さんのお話を聴いたりしてきましたが、このような広がりへとつながっていったことは素晴らしいです。多くの企業が興味を持って活動を展開することで、これまでよりも急速に浸透していくことでしょう。誰にとっても生きやすい(収入も含めて)、生きがいのある、楽しい仕事や生活ができる社会になることを願っています。
満足	興味深い内容で、福祉の可能性が広がるような夢があって希望が持てるイベントでした。

展示内容



GOTOUCHI FONT 渋谷発・全国初
ご当地フォント展

全国ご当地フォント EXHIBITION

あいう
せそた
ひふへ

ご当地フォント展
全国5拠点の取り組み

障がいのある人とのアートとSDGs
～全国の企業のチャレンジ～

自分で作る手書き文字で
自分だけのオリジナルを作ろう!

ジカツデザイン
アートパラ深川

12.1[THU]～12.5[MON] 11:00～19:00
*最終日のみ17:00終了
渋谷ヒカリエ 8F「8/」CUBE 1,2,3

1.ご当地フォント

フォント・パターン展示

2.障がいのある人のアートとSDGs

～全国の企業のチャレンジ～

アンケート紹介

3.フォントワークス株式会社様

製品紹介、ワークショップ

4.株式会社トラストウォーク様

原画展示

5.ジカツデザイン アートパラ深川

活動展示

1.ご当地フォント

地域独自の発想で生まれた全国5拠点のご当地フォント

大分、広島、富山、滋賀、江戸川区、5拠点それぞれの地域の個性豊かなフォント・パターンが初お目見え。ここから旅立ったフォント、パターンがどのように日本、いえ世界へ広がっていくか、一緒に想像してみませんか？

展示フォント・パターン

「エドフォント」 東京都江戸川区「エドてらす」

「とやまふおんと」 富山県南砺市「花椿かがやき」

「SHIGA - 自然と自由に手の力で-」 滋賀県蒲生郡竜王町「創作ヴィレッジこるり村」

「ピースフォント」 広島県広島市「NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん」

「ゆけむりふおんと」 大分県別府市「デザイナーズカンパニーユーツー」

ご当地フォント



2.障がいのある人のアートとSDGs ～全国の企業のチャレンジ～

全国の企業がチャレンジ！ 障がいのある人のアート活用事例展

障がいのある人が描いたアートは、鑑賞して楽しむのはもちろんのこと、さまざまな企業活動に利用され、イノベーションの源に。アートをきっかけに企業が、それを取り巻く社会が変わっていくヒントがここにあるかもしれません。

展示企業・大学(順不同)

- ・アフラック生命保険株式会社／アフラック・ハートフル・サービス株式会社
- ・株式会社インテリジェント ウェイブ
- ・コクヨ株式会社
- ・東京工業大学リーダーシップ教育院
- ・株式会社トラストウォーク
- ・株式会社パソナハートフル
- ・ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

各社・各大学の障がい者アートの導入の取り組みを4つの質問に沿って紹介

- 質問1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- 質問2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- 質問3 御社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- 質問4 御社における今後の活用における妄想をおしえてください。

障がいのある人のアートとSDGs ～全国の企業のチャレンジ～

コクヨ株式会社

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. 社員へのダイバーシティの認知拡大。オフィスでデザインとしてのアートへの理解を向上。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 来客及び社員の目に触れる場所への展示と、イベントでの一部アーティストノマドなど（活用）
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. オフィスリノベーションにおける「変わった感」のシンボルとして認知してもらえている。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. アートへの理解度をより高め、アーティストから世の中のお客さまからも「オフィスがアートが一番面白い場所」マッチさせるには「コクヨ」といったイメージを個人層には作りたいと考えています。



障がいのある人のアートとSDGs 企業の本音を聞いてみました

企業におけるSDGs達成の一環として、障がいのある方のアートを活用している企業が増えてきています。このような取り組みには、いったいどのような効果があるのでしょうか？ その活用方法や導入してみて感じたこと、実感している効果など、実際に障がいのある人のアートを活用している企業に聞いてみました。企業の生の声をぜひご覧ください。



株式会社Trust Walk

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. 社員自身がこれまでに3回の研修を受けた。その中で研修のなかで「自分たちがアートで表現したい」と思った。その思いを共有し、実現するために会社のアートプロジェクトを立ち上げた。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 専任のアートプロジェクト（ヒーローフォント）で表現しています。また、ヒーローフォントの作者の方にお礼として、弊社が提供する「空のチームマネジメント」をイメージした絵を贈っていました。この絵は、研修の中で「空のチームマネジメント」を説明する際に用いたり、オンラインミーティングの背景に使用したりしています。それ以外にも、弊社が提供する研修の「テキスト」の表紙などに、ヒーローフォントで使っています。
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. 名前をお知らせの際に、ロゴタイプが素敵ですね！と喜んでいただくことが多く、そこからお話が自然に発展しています。お礼の方のように自然な形で会話が増えるきっかけをつかめることは、とても大きな効果だと感じています。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. ヒーローフォントの作者の方にお礼として「空のチームマネジメント」をイメージした絵を贈っていましたが、今後もそのような形で新しい作品を贈っていただきたいと思います。



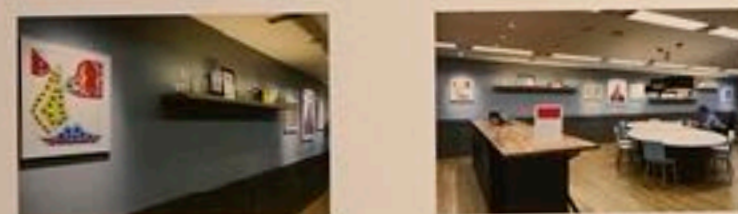
株式会社インテリジェントウェイブ

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. 社員が喜ぶ社会貢献がしたい。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 会議室などに障がい者アートを飾り、社員交流の目的とした障がい者アート鑑賞会を実施。
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. 来客者も含めアート鑑賞を喜ぶ声がかかり、審美眼では専門の所感を懸念した社員交流がみられた。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. 作者の方を講師にお迎えして、社員の集客を招いてお話し教室を開催したい。



アフラック生命保険株式会社 アフラック・ハートフル・サービス株式会社

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. 当社はすべての社員の多様性を尊重し、その能力を最大限に発揮できる環境をつくるダイバーシティ推進（女性活躍推進、育児・介護・単身と仕事を両立、LGBTQに関する取り組みなど）に積極的に取り組んでいます。さまざまな能力や発想、価値観を持つ社員が、お互いに影響を及ぼし合いながら働くことで、さらなるイノベーションを起こし、新たな価値を創造していくことを目指しています。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 障がいを持つ方々の社会参加を促進することを企業の重要な責任と位置付け、特例子会社「アフラック・ハートフル・サービス株式会社」を通じて、一人ひとりが個人の能力を最大限に発揮し、かけがえのない人材として尊重される社会人になることを目的に、積極的な雇用創出を行っています。当社のオフィスにアフラック・ハートフル・サービスの社員が制作した感性豊かなアート作品を展示したり、お客様向けご案内文書に同社の社員が制作したイラストを活用したり、障がい者の多様な能力を発揮する機会の創出と障がい者に対する理解促進を行っています。
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. ご案内文書については受け取った方から、温かいお言葉を頂戴しておりますが、オフィスにアート作品を展示することに対する効果はまだ十分に把握できておりません。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. オフィスの内装に障がい者アートを採用しようと試作品を製作しています。



ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. Diversity & Inclusionの取り組みの一環として、社員の皆さん、そしてオフィスを訪れる方々に障がいのある方のパワフルで個性あふれるアートに触れる機会を提供し、またアートを通じてアーティストの自立を支援する社会貢献に取り組むため。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 本社オフィスのカフェスペースにアートを展示し、3か月ごとにアーティストを変更し四季折々のアートを楽しませていただいています。
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. 障がい者への理解を深めることに繋がったり、会社としてこのような社会貢献活動を行うことで社員の帰属意識の向上に繋がっています。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. (以下、個人的な発想です)アートを展示するだけでなく、アーティストの方と接する機会を作り、体験を通じて障がいのある方々より理解する場を展開したいです。また、本社オフィスだけではなく全国の事業所にも何らかのかたちでアートに触れる機会を作りたいです。



株式会社パソナハートフル

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. 事務処理が出来ないような重い障がいのあるメンバーの雇用を生み出すため。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 全国各拠点に展示、アート作品を活用した、商品化、レンタル事業の立ち上げ、受注販売。
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. 事業として立ち上げているので、きちんと売上げています。また、重い障がいのあるメンバーの雇用の拡大が実現できた。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. 全国の障がいのあるアーティストの開発・育成。



東京工業大学リーダーシップ教育院

- Q1 障がい者アートを導入しようとしたきっかけを教えてください。
- A. 専門分野の異なる大学院生同士のコミュニケーションの活性化のため、「正しさ」を求める必要のない設定で対話する機会を作りたい。日本人学生と留学生が混ざっているため、非言語の要素をとり入れたコミュニケーショントレーニングの機会をとりいれたい。
- Q2 現在、障がい者アートをどのように活用されていますか？
- A. 1年に2回のペースで対話型アート鑑賞を実施している。
- Q3 弊社における活用されてからの何かしらの効果はあったでしょうか？
- A. 同じグループの人が、自分に全くなかった発想でアートについて話しているのを聞いたことをきっかけに、進路についての考えを変えた方など、学生によっては大きな影響を受けた話が出てきた。また、グループワークに対する抵抗感が減ったという感想も受け取っている。
- Q4 弊社における今後の活用におけるお考えをおしえてください。
- A. 制作過程を組み込んだワークショップを行ってみたい。



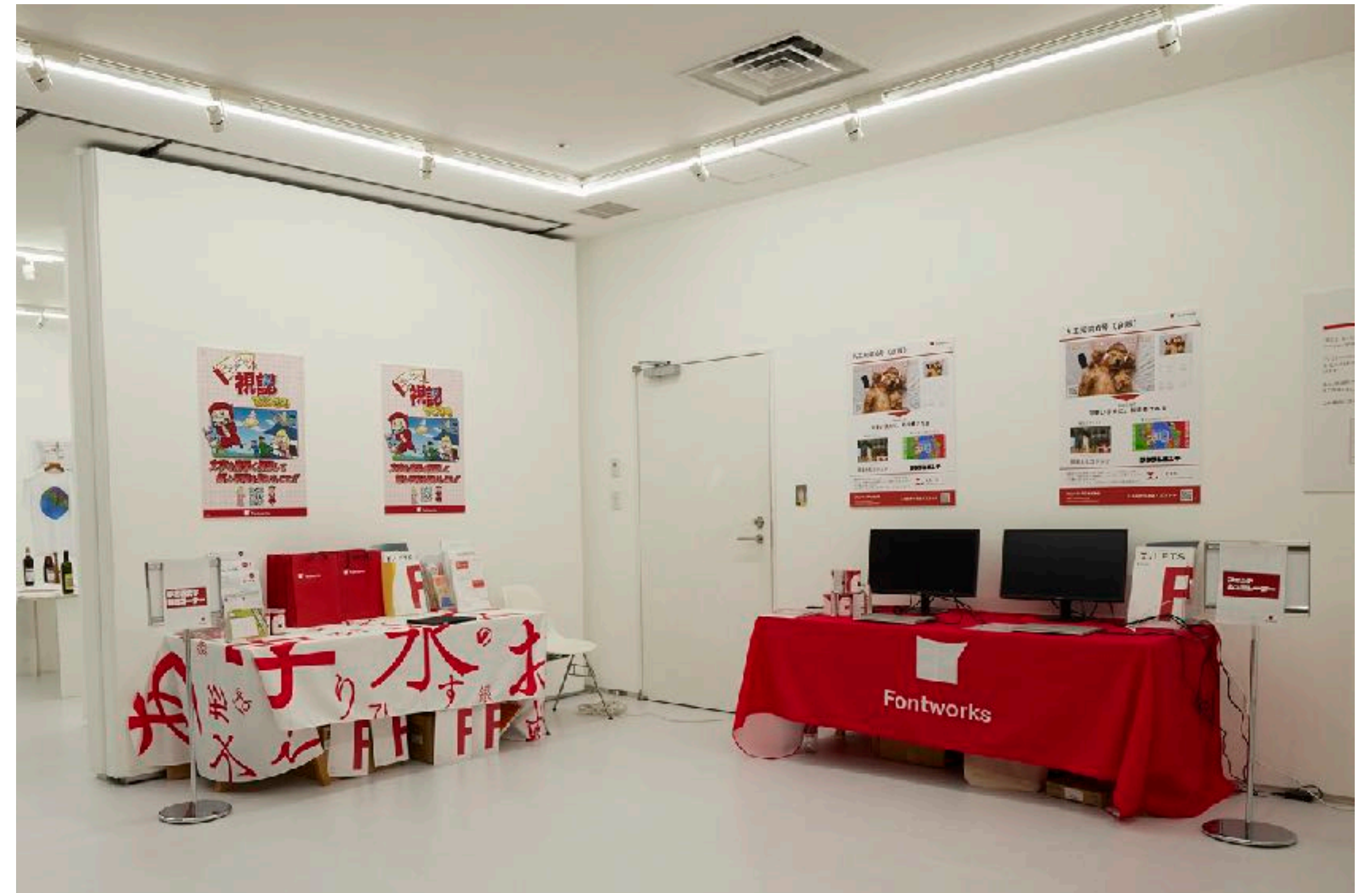
3. フォントワークス株式会社様

自分で作る手書き文字で自分だけのオリジナルフォントを作ろう！

手書きした文字をAIがフォントに変える!? そんな驚きのシステム「AI JIMOJI」のほか、フォントと3D技術の融合でフォントの視認性をWeb上で確認できる「フォントシミュレーター」など。

リーディングカンパニー“フォントワークス”の最新技術を体験していただきました。

運営:株式会社フォントワークス



<https://fontworks.co.jp/company/>

フォントワークス株式会社様



手書き文字のフォント化サービス

<https://mojicity.jp/aijimoji/>



写真からの的確なフォントを提案

印象語からフォントを検索できる『印象語検索AI (β版)』の体験

<https://lets.fontworks.co.jp/services/impression>

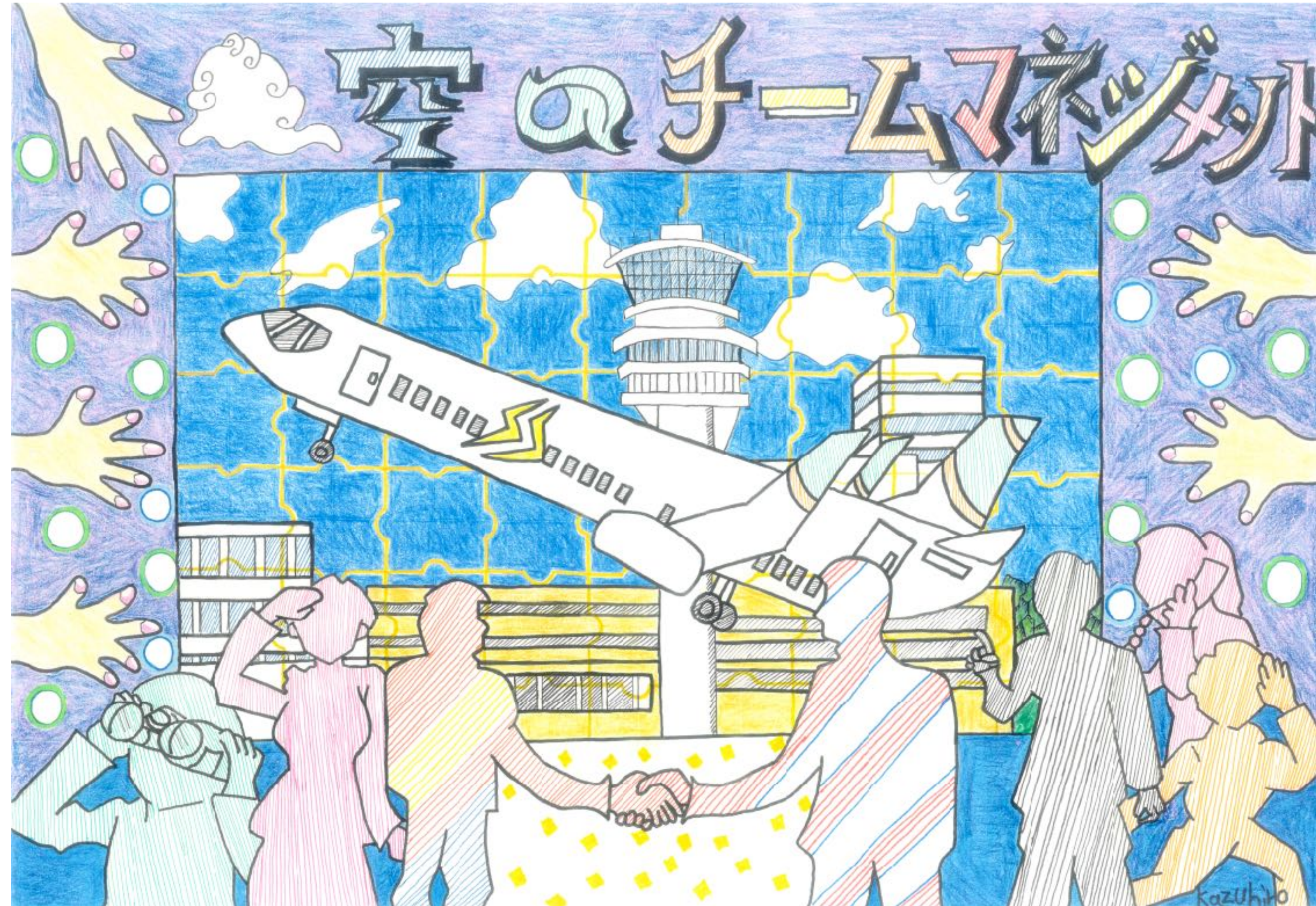
4.株式会社トラストウォーク様

『空のチームマネジメント』原画展示

未来を創る人に『空のチームマネジメント』を

弊社のロゴタイプに使用させていただいているシブヤフォント(HERO FONT)の作者の田代さん(工房ぱれっと)に、弊社がご提供する『空のチームマネジメント®』をイメージした絵画を描いていただきました。

個々が責任ある立場でチームを構成し、誰が欠けても空の安全は守れないことを「パズルのピース」で表現されたり、目には見えない「安全のボタン」をずっと繋いでいくことを絵の周囲の手で表現されたりと、空の世界が大切にしている価値観を様々な形で表現してくださっています。



株式会社トラストワーク様

シブヤフォントとの出会い

私がシブヤフォントと初めて出会ったのは、脳梗塞の治療で入院をしていた病室の中でした。人生3回目の脳梗塞で、後ろ向きになりそうな時にシブヤフォントを偶然知り、その活動やフォントが放つエネルギーから大きな力をもらいました。

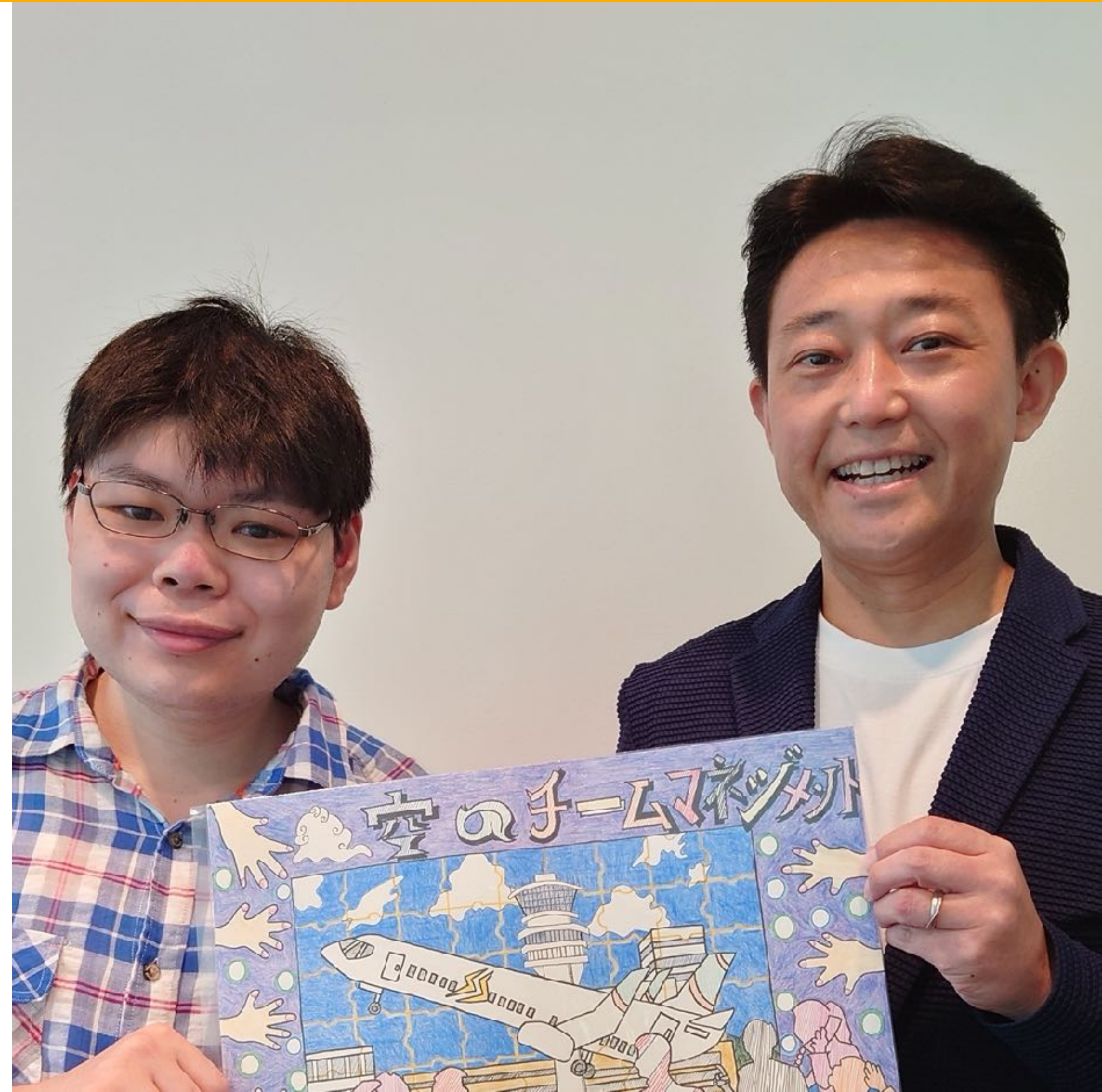
そして、「病と共存し、笑顔を忘れずに前向きにワクワクしながら人生を歩いていくこと」を誓いました。

また、25年間の航空管制官としての経験を活かし、航空界が大切にしている「価値観」や「人財共育」法を『空のチームマネジメント®』として他業界の方にお伝えしていくことで貢献する第2の人生をスタートさせることを決心しました。

ロゴタイプとテキストの表紙に

25年勤めた航空管制官を卒業することを決意し、国土交通省を早期退職して起業する際、会社のロゴタイプはシブヤフォントにしたい！と考えました。多くのフォントの中から、HERO FONT作者の『みんながそれぞれのストーリーを生き、ヒーローです。わたしのヒーローは、わたした。そんな力強さや、ゲームのようなワクワク感をイメージしたフォントです。』という想いとフォントデザインに感銘を受け、弊社の理念とも合致していることからロゴタイプに使わせていただきました。

弊社がご提供する『空のチームマネジメント®』を体現していると多くの反響をいただいています。また、弊社がご提供する『空のチームマネジメント®』のテキスト表紙も、HERO FONTでタイトルが記されています。



5.ジカツデザイン アートパラ深川



地域に根ざし、求められるデザインを生み出して自ら仕事を作り出すグラフィックデザイナーが全国各地に誕生しています。江戸時代からの神社仏閣が残る東京の下町・深川では、障がいのあるアーティストによる芸術祭を開催。その賑わいをご紹介します。

展示:東京工芸大学 福島ゼミ

イベント



福祉とデザインによる地域づくり



ご当地フォント発表会



シブヤフォントで対話型アート鑑賞



フォントおじさんが語るフォントのはなし



障がいのある人のアートとSDGs ~全国の企業のチャレンジ~

福祉とデザインによる地域づくり

12月3日(土)13:00~14:30

渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT(オンライン視聴あり)

登壇者(順不同)

ソトコト編集長 指出一正

株式会社ソーシャル・エクス代表取締役 伊藤 大貴

一般社団法人シブヤフォント共同代表 磯村歩

「ご当地フォント」は、地域の活性化はもちろんのこと、福祉還元、D&I推進など多くの課題解決の可能性を秘めており、取り組みは全国へと広がっています。障がいのある人たちから生まれたアートは、未来をどう変えるのか？ 雑誌編集者の指出一正氏は、さまざまな地域の取り組みを取材する中で見てきたことについて。官民共創プロジェクトを推進する伊藤大貴氏は、自治体との連携を構築するに際して鍵になるポイントを。福祉とデザインによる地域づくりに深い関心を寄せるキーパーソンが、シブヤフォント共同代表の磯村歩氏とともに大いに語り合い、白熱した議論を展開いたしました。



ご当地フォント発表会

12月3日(土)15:00~17:30

渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT(オンラインあり)

登壇者(順不同):

社会福祉法人ひらイルミナル理事長 河野文美

社会福祉法人ひらイルミナル アクティビティサポートセンターゆい生活支援員 池田佳織

社会福祉法人ひらイルミナル地域活動支援センターこまつがわ相談員 津金澤智美

広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科視覚造形分野 教授 納島正弘

認定NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん 事務局法人デザイナー 副島 沙奈

富山県障害者芸術活動支援センターばーと◎とやま 米田昌功

アイアンオー株式会社 山口久美子

株式会社スターゲイト新川 門嶋隆祐

社会福祉法人やまびこ福祉会統括施設長 島田和典

一般社団法人デザイナーズカンパニー ユーツー梅本弥生

株式会社naNka アートディレクター 佐藤霧子

東京工芸大学 教授、株式会社フクフクプラス 共同代表 福島治

一般社団法人シブヤフォント共同代表、株式会社フクフクプラス 共同代表 磯村歩

一般社団法人シブヤフォント アートディレクター ライラ・カセム

全国5ヶ所(広島県、大分県、滋賀県、富山県、東京都江戸川区)から、「ご当地フォント」を制作した方々が集結し、新作のフォントやパターンをお披露目し、制作時の思いを語ってまいります。その他、制作を支援したディレクターたちによる「ご当地フォント」の持つ可能性についてのトークも。社会貢献を超えた多彩なソーシャルインパクトの実例を発表。

発表するデータ総称とグループ名:

「とやまふおんと」

花椿かがやき(富山県南砺市)

鮮度や素材を生かした柔らかさは自然豊かな土地からの開催アプローチ

「SHIGA~自然と自由に手の力で~」

創作ヴィレッジこるり村(滋賀県蒲生郡竜王町)

障がいや福祉のイメージを変えたい!個々の感性や可能性をヴィジュアルに表現

「エドフォント」

エドてらす(東京都江戸川区)

江戸川区独自の草の根ネットワークで地域共生社会づくりに一石を投じたい

「ゆけむりふおんと」

デザイナーズカンパニーユーツー(大分県別府市)

温泉地にたなびく湯けむりのおおらかに、のびやかに

「ピースフォント」

コミュニティリーダーひゅーるぽん(広島県広島市)

人や社会と繋がって自分らしく豊かに生きるために

ご当地フォント発表会



「とやまふおんと」



「SHIGA~自然と自由に手の力で~」



「エドフォント」



「ゆけむりふおんと」



「ピースフォント」



シブヤフォントで対話型アート鑑賞

12月4日(日)11:00~12:30

渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT(オンライン視聴可)

登壇者(順不同):

東京工芸大学 教授、株式会社フクフクプラス 共同代表 福島治

一般社団法人シブヤフォント共同代表、株式会社フクフクプラス 共同代表 磯村歩

シブヤフォント認定アートファシリテーター(雨木寛子、安東豊、岡澤由宇子、蔭山幸司、加藤明香里、河東田英、久我聡子、桑間千里、富田梨花、二河等、藤田奈穂、渡辺ゆうこ)

既存のアート鑑賞の概念を覆す「脳が脱皮する」対話型アート体験をしてみませんか？
対話型アート鑑賞はニューヨーク近代美術館(MoMA)が開発したもので、創造的思考力、コミュニケーション能力、観察力など、現代人に必要な能力を養うことができる、美術鑑賞法のひとつ。そのため日本でも独自に進化した対話型アート鑑賞が、企業の人事研修などで活用されています。本イベントは、この対話型アート鑑賞をシブヤフォントで体験いただくプログラム。

ヒカリエご来場の方はプログラムを体験していただきました。



フォントおじさんが語るフォントのはなし

12月4日(日)13:00~14:30

渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT(オンライン視聴あり)

登壇者:

フォントおじさん 関口浩之

一般社団法人シブヤフォント共同代表 磯村歩

フォントはクリエイティブ。フォントは、単に情報を伝えるコミュニケーション手段にとどまりません。どんなフォントを選ぶかによって、感情や思いなど託すことのできる可能性は無限大。そんなフォントの楽しさ、クリエイティビティを、「フォントおじさん」こと、フォントエヴァンジェリスト・関口浩之氏が語ります。少年時代は看板職人の手書き文字に惹きつけられ、その後Web時代になってからは「Webフォント」文化を広めるために活躍するフォントおじさんは、ご当地フォントにどんな魅力を感じているのでしょうか？

たっぷりとお話を伺いました。



関口浩之/フォントおじさん

@HiroGateJP

渋谷ヒカリエ8Fにて12/4(日)開催『フォントおじさんのフォントのはなし』へご参加いただき、ありがとうございました。SNSでは繋がってるけど初めて会う人がたくさん来てビックリだしうれしかった。5日間の#ご当地フォント展は楽しく閉幕しました。作品ぜんぶ素晴らしかった。
#シブヤフォント



関口氏twitterより

障がいのある人のアートとSDGs ～全国の企業のチャレンジ～

12月4日(日)15:00～17:00

渋谷ヒカリエ 8F「8/」COURT(オンライン視聴可)

登壇者(順不同):

株式会社インテリジェント ウェイブ 浅田麻衣子

コクヨ株式会社 長谷川謙人

株式会社トラストワーク 蔭山幸司

アフラック生命保険株式会社 高瀬英邦

アフラック・ハートフル・サービス株式会社 新井 佳織

株式会社パソナハートフル 坂口亨

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 高橋志保

一般財団法人たんぼぼの家/エイブルアート・カンパニー関西事務局 大井卓也

一般社団法人シブヤフォント共同代表、株式会社フクフクプラス 共同代表 磯村歩

SDGsに対する問題意識から、障がいのある人が描いたアートを社屋内に展示したり、グッズに採用するなど、全国の企業で障がいのある人のアートの活用が広がっています。さらに近年では、ワーク環境の改善や社員育成においてなど、より企業価値向上に資するものとしてのチャレンジも多数存在しています。その事例の一部を展示スペースでご紹介しつつ、全国の企業からオンラインでもご紹介しました。

さまざまな事例を見ながら語るのは、障がいのある人のアートを仕事にする環境作りを進めるエイブルアート・カンパニーの大井卓也氏。聞き手は、渋谷区事業として障がいのある人とデザインを学ぶ学生との共創で生まれた「シブヤフォント」の事業を運営するシブヤフォント共同代表・磯村歩氏。

ご登壇企業様同士もお繋ぎし、今後の活動の参考にさせていただきました。

